

シルクコーン
(但東地域ブランド)

但東地域のJAたじまシルク野菜部会員が生産する「シルクコーン」は、5年前の農委だより43号で紹介されましたが、真っ白で艶やかな実と糖度の高さやジュシーさが自慢のコーンを地域ブランド化したいという思いから、昨年、但東シルクロード観光協会が但東地域で生産された350グラム以上のものを「シルクコーン」として商標登録し、出荷用にロゴシールを作成しました。

一度は3〜4人まで減ってしまった生産農家ですが、今年は10人の生産者(団体含む)が約4ヘクタールに約12万本を作付けし、阪神方面の市場やJAたじまに約2万7千本を出荷、その他は直販やもぎ取りとして市民はもちろん、多くの観光客に楽しんでいただきました。



も、NHKや民放テレビで報道していただいたお陰で、その反響は大きく、8月7日から開園した「たじまとうひまわりまつり」会場のもぎ取り園では、最終日を待つことなく3千本のコーンが完売となりました。

さらにブランドとして質と量の向上に努めると共に、加工品開発も視野に入れながら、地域一丸となって「シルクコーン」を盛り上げていきます。

(農業委員 早水 博子)

さしみこんにやく
竹野町中竹野地区

竹野地域の中竹野地区では、中竹野コミュニティの平成28年組織立ち上げ当初から「さしみこんにやく」の加工・販売をしております。

原材料の「こんにやくいも」は11軒の農家に栽培を委託し11月に収穫、600〜700kgの1年の仕込みを12月に行います。水と火を使う工程は、冬季は



より寒く、夏季はより暑い環境での作業となり、大変な重労働ですが、4人のメンバーは週2回の作業を手慣れた手順で

加工されています。「ブレイン」「青のり」の「さしみこんにやく」を中心に、冬季は「糸こんにやく」も生産。中竹野や竹野南のコミュニティセンターでの販売をはじめ、竹野地域内のお店や旅館・民宿などにも卸しておられます。

各地のイベントでも出店されていますので見かけられた方も多いかと思いますが、ぜひ一度ご賞味ください。

また、「こんにやくづくり教室」も開催して「さしみこんにやく」の普及にも努めておられます。販売日、教室の開催等のお問い合わせは、中竹野地区コミュニティセンターまで。(☎0796-4710503・火曜日休館)

(推進委員 橋本 忠明)

農業者年金で安心・豊かな老後を

～農業者の老後は国民年金だけでは不安です～

◎農業に従事する方の老後の安心に役立ちます。

国民年金 + 農業者年金

◎こんな方が加入できます。

①国民年金第1号被保険者

②年間60日以上農業に従事

③20歳以上65歳未満の方※

※60歳以上65歳未満の方は国民年金任意加入被保険者に限ります。



◎積立方式だから自分がかけた金額は年金として生涯もらえます。(仮に80歳前に亡くなった場合でも、死亡一時金が遺族に支給されます。)

◎保険料は いつでも変更 できます。

月々2万円※から6万7千円まで

※政策支援(以下参照)の対象とならない方は1万円

◎支払った保険料は全額社会保険料控除となり、所得税や住民税等の **節税** になります。

◎政策支援(保険料の国庫補助)が受けられます。

例: 認定農業者等で青色申告者で35歳未満の人は10,000円(5割)補助

問い合わせ

豊岡市農業委員会 TEL.0796-21-9021
最寄りのJAの農業者年金担当

独立行政法人農業者年金基金

専門相談員 TEL.03-5919-0371

企画調整室 TEL.03-5919-0332